

2022年10月28日

令和4年度 VOL.26

《 2022年 コキア
グランドフィナーレ 》

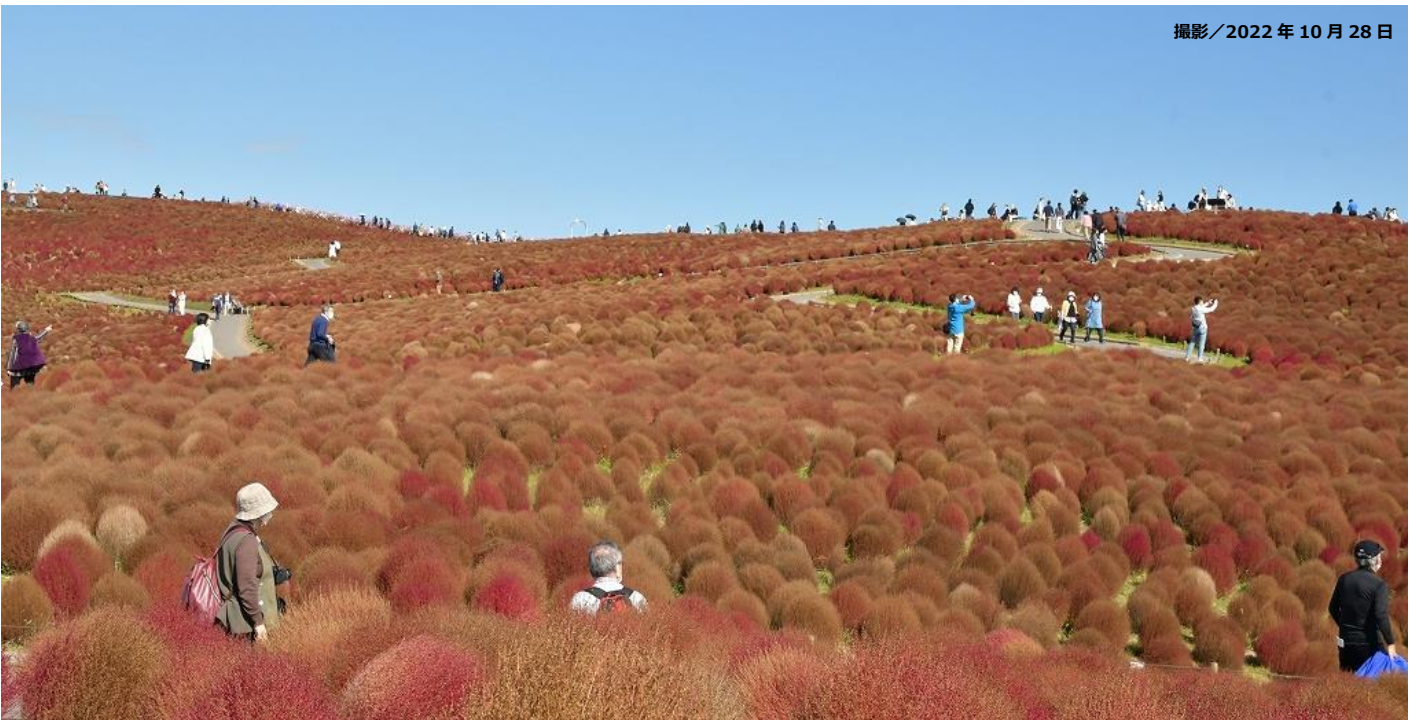
紅葉を終えて

コキアは黄金色へ

※コキアは11/7(月)までご覧いただけます。

国営ひたち海浜公園の「みはらしの丘」では、約3万3千本のコキアが紅葉の見頃を過ぎ、丘全体が茶色味を帯びています。部分的には、日に照らされると黄金色のように輝く「黄金（こがね）コキア」をご覧いただけます。今後は日増しに黄金色のコキアが増えて、11月2日頃には丘の大部分を覆う見込みです。夏の緑から様々な色で季節の移ろいを感じさせてくれたコキア。最後の色の変化をお楽しみいただけるのは、11月7日までとなります。

撮影/2022年10月28日



◆最後の色変わり

コキアの色合いは夏から秋にかけて、爽やかなライムグリーンからくすみグリーン、緑と赤のグラデーション、紅葉から赤と茶色のグラデーションへと変化してきました。最後の色の変化は黄金色。紅葉を終えたコキアは茎や葉が枯れて茶色になり、徐々に色が抜けて黄金色となります。特に西日を浴びた際に黄金色が際立つため、午後のひと時に紅葉とは違った情緒あるコキアをお楽しみいただけます。

【コキア】 ■品種数:1品種(ルージュ) ■本数:約3万3千本 ■場所:みはらしの丘 ■植栽面積:約1.9ha
■黄金コキア 10月24日頃～11月7日



昨年の黄金コキア (2021年11月3日撮影)

◆コキアは「干支の巨大地上絵」の材料に

「みはらしの丘」では、春のネモフィラを準備するため、11月8日(火)の休園日にコキアの抜き取りを予定しています。抜き取ったコキアの一部は、12月下旬から1月上旬にかけて大観覧車の下に登場する、当公園の冬の風物詩「干支の巨大地上絵」の材料として使用します。輪郭は間伐材、影の部分を松ぼっくり、毛並みを乾燥させたコキアで表現して、来年の干支「卯」を描きます。



干支の巨大地上絵 (2021年12月18日撮影)

Information

みはらしの丘では11月中旬から、ネモフィラの種まき作業が始まります。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 田中・星・渡邊

TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4